

2020年度事業計画

I 役員会議・主要行事等開催計画

区分	時期	内容
理事会	2020年 6月	2019年度決算報告等について
	9月	執行状況の報告等について
	12月	執行状況の報告等について
	2021年 3月	2021年度事業計画等について
評議員会	2020年 6月	2019年度決算の承認等について
監査	2020年 5月	2019年度業務・会計の監査

II コンベンションビューロー事業

本県におけるコンベンション開催件数は 2015 年以降 150 件を超えるコンベンションが開催されるようになった。2019 年度末には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止されたコンベンションが発生したにも係わらず、2019 年度も 153 件の開催件数となった。また、国際会議開催件数も 2013 年度に 10 件の壁を越えてからは順調に開催件数が増加し 2019 年度は 17 件が開催された。

このような状況を踏まえ、当ビューローでは県内の様々な業種・団体と協力し、地域の活性化や国際化の推進を図るため事業を推進する。

本県へのコンベンション誘致の具体的な目標として、年間の訪問目標件数を、昨年度に引き続き 1,000 件と定め、関係団体・大学等への訪問活動を実施し県内へのコンベンション誘致に努める。

1. 誘致事業（836万円）

当ビューローが独自に構築してきた「コンベンション・データベース」の情報を活用し、県内の団体及び大学等の関係者はもとより、首都圏・関西圏等の県外主催者に対し訪問活動を実施する。特に首都圏の誘致活動は、東京都内に駐在員を常駐させ訪問活動の強化を図っているが、今年度も引き続き常駐させ、主催者への誘致活動を行い、島根県内でのコンベンション開催の働きかけを行う。

また、本県への国際会議誘致のため、2015 年度に効率的な国際会議情報の収集や誘致活動を実施することを目的にコンベンションビューローが連携して立ち上げた「グローバル連携会議（一般財団法人山形コンベンションビューロー、一般社団法人つくば観光コンベンション

協会、公益社団法人おかやま観光コンベンション協会、一般財団法人くにびきメッセで構成)の情報や、くにびきメッセファンクラブ会員からの情報収集・紹介及び、国内で開催される商談会などへの参加を通して、本県への国際会議の誘致を行う。

(1) 国内コンベンション

- ① 当ビューローも加盟する中国・四国地区のコンベンション推進協議会(会員数 14 団体)が開催する「中国・四国地区コンベンション推進協議会誘致懇談会」に参加し、国内のコンベンション主催者との新たなネットワーク構築と商談会を通して県内へのコンベンション誘致を行う。

会 期 : 12月予定

会 場 : 東京

主 催 者 : 中国・四国地区コンベンション推進協議会

- ② 連携協定(2014年度締結)を結んでいる益田市をはじめとし、県西部の自治体とも連携し、県西部へのコンベンション誘致を図る。

(2) 国際会議

- ① コンベンション開催のキーパーソンとなる主催者を島根県に招請し、コンベンション会場や宿泊施設等の視察などを行ってもらい、本県へのコンベンション誘致を図る。
- ② 「くにびきメッセファンクラブ」会員からの案件情報の入手と、新たな国際会議の紹介を受ける。
- ③ 「グローバル連携会議」で共有を行なっている国際会議コンベンション・データベースを活用し、新たな国際会議誘致の働きかけを行う。
- ④ 国際会議のコンベンション・データベース情報の精査を行うとともに、インターネットによる調査や誘致活動により得た情報を加える。
- ⑤ 国内のコンベンション主催者との商談会として開催される「国際MICEエキスポ (IME)」と、海外の主催者を日本に招請し、国内のコンベンション開催都市の視察と商談会を開催する「国際会議海外キーパーソン招請事業(Meet Japan)」に、引き続き参加し商談会を通して県内へのコンベンション誘致を行う。

「国際MICEエキスポ (IME)」(予定)

会期・会場 : 未定

主 催 者 : 日本コンgres・コンベンションビューロー(JCCB)

「国際会議海外キーパーソン招請事業(Meet Japan)」(予定)

会期・会場 : 未定

主 催 者 : 日本政府観光局(JNTO)

(3) 大学クラブ・サークル合宿の誘致

大学のクラブやサークル合宿の誘致を推進するため、松江市内のホテル・旅館で実施される関西方面などの合宿専門の旅行会社等への誘致活動に協力し、合宿誘致を推進する。

2. 企画事業（256万円）

（1）賛助会員企画

くにびきメッセ賛助会員に、コンベンションビューローの事業内容を知ってもらうとともに、会員のビジネスチャンスが得られるような企画を実施する。

会期：2021年3月予定

（2）「くにびきメッセファンクラブ」交流会の実施

島根県内で国際会議を開催された県外の主催者及び関係者を中心に「くにびきメッセファンクラブ」（会員数：222名）を組織化している。この会員から新たな国際会議の情報収集や紹介、会員相互の交流を図るため、関西、首都圏及び九州で開催している交流会を、今年度も引き続き開催する。

大阪：2020年8月開催予定

九州：2020年11月開催予定

東京：2020年12月開催予定

（3）「コンベンションビューロー情報説明会」の実施

東京に配置している駐在員の強みを生かした活動として、将来国際会議のキーパーソンとなる研究者や国際会議の開催を検討している主催者、国際会議等を多く開催している研究機関等の組織・団体や大学、国際会議等の運営に携わるPCO（会議運営会社）等に直接出向いての情報説明会を開催し、首都圏での新たなネットワークの構築を図る。

（随時開催予定）

3. 調査事業（27万円）

（1）「コンベンションデータベース」の整備

コンベンション誘致活動の基礎となるコンベンションデータベースの精度を上げるため、インターネットによる調査や、誘致活動により得た最新の情報をコンベンション・データベースに反映させアップデートを図るとともに、新たなコンベンション・データを「日本コンGRESS・コンベンションビューロー（JCCB）」から購入しデータベースに加える。

（現在のデータ件数：約12,426件）

（2）新たなユニークベニューの開拓

国際会議で主催者に提案できる魅力的なバンケット会場（ユニークベニュー）を増やし、主催者の選択肢を広げるため、新たなバンケット会場の開拓を行う。

4. 広報宣伝事業（103万円）

（1）コンベンション情報誌「神々の郷」の発行

当ビューローの最新の情報や今後開催されるコンベンション予定をコンベンション情報誌「神々の郷」として発行し、コンベンション主催者、大学関係者、賛助会員等に配布する。

発行部数：1,900部/回

発行回数：4回/年

(2) 「コンベンション誘致支援パンフレット」の作成

島根県及び県内市町のコンベンション開催支援補助金等の支援制度、交通アクセス等を紹介するパンフレットを作成し、誘致活動や情報発信に活用する。

作成部数 : 2,000 部

(3) ホームページの活用

今後県内でコンベンションを開催される主催者への情報提供のため、県内で開催されたコンベンション実績に主催者からのコンベンションを開催した感想などのコメントを貰いホームページに掲載する。

5. 支援事業 (7,517万円 うち県補助金:5,000万円 松江市補助金:2,331万円)

(1) コンベンション主催者への支援

島根県内においてコンベンションを開催される主催者に対して支援を行う。

- ① 会議施設、懇親会場（ユニークベニューを含む）の紹介、手配
- ② コンベンション開催支援の補助金交付
- ③ 歓迎看板、郷土芸能の提供
- ④ エクスカーション用バス(コンベンション観光バス)の補助金交付
- ⑤ 英語ボランティア、茶道ボランティアの手配
- ⑥ 観光パンフレット、コンベンション・バッグ(有料)の提供
- ⑦ くにびきメッセを会場として開催されるコンベンションへお茶席の設置と抹茶・和菓子の提供
- ⑧ コンベンションに関連する各種業者の紹介

(2) コンベンション参加者への市内飲食店等の情報提供の協力

松江商工会議所が主体となってコンベンション会場内に出席する「おもてなしブース」や観光情報等の提供に協力する。

(3) 「くにびきメッセ英語ボランティア」の活用

くにびきメッセで組織化している「くにびきメッセ英語ボランティア」を活用し、国際会議が円滑に開催できるよう主催者へのサポートを実施する。

(登録ボランティア数 : 38名)

6. その他

(1) MICEに関する情報共有

島根県が県内のMICE関連団体との連携及び情報共有を目的として開催される会議に参加し県内のMICE関係者との連携を強化する。

(2) 県人会、経済倶楽部との連携

「島根県経済文化振興会」の産業、学術、スポーツなど各般にわたる人的交流ネットワークを活用して、コンベンションの誘致を図る。

(3) コンベンション誘致人材育成

コンベンション誘致を担当する職員のスキルアップを図るため、日本政府観光局(JNTO)及び日本コンgres・コンベンションビューロー(JCCB)が主催する人材育成研修に参加する。

「JCCB 上期人材育成研修・MICE セミナー(初級者研修)」

日程・会場 : 未定

主催者 : 日本政府観光局(JNTO)

日本コンgres・コンベンションビューロー(JCCB)

「JCCB 下期人材育成研修」

日程・会場 : 未定

主催者 : 日本コンgres・コンベンションビューロー(JCCB)

Ⅲ 県立産業交流会館の管理運営

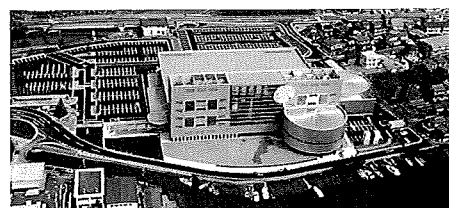
2019年度の会館利用については、数値目標(稼働率39.0%、利用件数1,800件)に対し、利用件数は、年度末のコロナウイルスの影響等もあり1,608件(3月25日時点)の見込みだが、夏場の自主企画イベント、及び大規模な催し物等が数多く開催されたことにより、稼働率は43.3%(3月25日時点)と、会館以来2番目に高い数字となる見込みである。

2020年度についても、会館としてのより一層のサービスの向上に努め、多くの利用者に利用いただけるよう、各種施策を積極的に推進する。

[2020年度数値目標]

会館利用率…… 39.0%

利用件数…… 1,800件



1 施設運営

(1) 施設の利用促進策 (507万円)

① 国際会議・国内学会の誘致、支援の取り組み

事業課に新たに「国際・学会推進室」を設け、くにびきメッセへの国際会議、国内学会の誘致活動を行い、併行して、主催者との事前打ち合わせを含む運営支援を行う。

② 無料での会場設営サービス

大展示場1/3、多目的ホール、国際会議場を利用される会議形式の催し物(講演会、セミナー、学会等)については、従来そのレイアウト設営を会館のサービスとして無料で実施してきた。今年度も利用者の負担軽減のために、上記サービスを引き続き継続し、利用者の負担軽減に努める。

③ ホームページの機能拡充の検討

会館を初めて利用される方、特に県外の主催者は、くにびきメッセの施設の情報(施設の設備、利用方法等)を、まず当館のホームページから入手されている。施設を利用するのに必要な情報を、よりの確に分かりやすく伝えるため、現在のホームページの内容を見直し、機能をより充実したものにすべく検討を行う。

(2) 広報宣伝活動 (42万円)

① 「くにびきメッセ催物案内」の発行

月1回発行 各 630 部製作

主要配布先: 島根県民室、松江市役所、松江商工会議所、島根県民会館、松江テルサ、プラバホール等公共施設、マスコミ (市内 15ヶ所)

② ホームページを通じての情報掲載

財団ホームページ、その他インターネットを通じての催物情報の発信

③ 地元タウン情報誌(「Lazuda」)、業界誌(「MICE Japan」)への催物情報の提供

④ コンベンションビューロー事業で発行する「神々の郷」に、施設利用についてのサービス等の情報を紹介。

(3) 自主事業の実施 (200万円)

会館のイメージ向上のため、産業交流会館の自主事業を実施する。

(4) 職員研修の計画的実施等 (68万円)

① 「全国展示場連絡協議会」、「国際会議場施設協議会」の会議、研修会への参加

② 他団体(島根県自治研修所、島根県公社等協議会)の実施する各種研修会への参加

③ 「危機管理マニュアル」に基づいた災害対応の研修の実施

④ 関係機関と協議のうえ、法定訓練等の実施

(5) 横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)との連携

平成22年度より、施設の運営ノウハウ等の情報交換を行うための協定を締結している。国内の先進的コンベンション施設である「横浜国際平和会議場」(パシフィコ横浜)において実施される職員研修に参加する。

2 施設・設備の維持管理 （700万円）

2020年度は、島根県が実施する修繕工事の予定はないが、利用者の利便性と安全を確保するべく県と協議しながら、建物及び機械、設備等の適正な維持管理に努める。

また、島根県の予算が付きにくい、貸室内のカーペット貼り替えなど積極的に行い、施設内の美観維持に努める。

なお、県立産業交流会館は2020年度に築27年を迎えるが、現在島根県において、県立産業交流会館の大規模修繕工事の計画が予定されている。今後建物の設置者である島根県と長期保全に向けた大規模修繕計画の協議を実施する。